

コース
NO.29

播磨国風土記ゆかりの井戸を訪ねて

謎多き加西の古井戸散策コース

最寄駅：北条鉄道 北条町駅

播磨国風土記ゆかりの地コース

約11.5km

一般向

約3時間
(休憩時間を除く)

所要時間の目安

北条鉄道
北条町駅スタート

約40分

乳の井戸

約45分

修布の井戸

約25分

ホームチベの井戸

約25分

長圓寺

約45分

北条鉄道
北条町駅ゴール

【問合先】
加西市観光案内所
(北条鉄道 北条町駅内)
TEL 0790-42-8823

コースガイド

(乳の井戸までは、コース No.27のコースガイド参照。)
乳の井戸を左折し、南へ歩く。谷の交差点を斜め左に直進し、手前橋を越え、Y字の交差点を右折。町内の道を道なりに歩き、T字の突き当りを左折。駐在所がある交差点を右折し、町内の道を奥へと進むと吸谷廃寺があり、さらに奥の民家の庭に修布の井戸がある。一旦駐在所まで戻り右折。池を横に見ながら歩き、カーブミラーがあるT字路を左折し直進。左手にお墓が見える細い道を上がって行くと、池が二つあり小さな池のほとりにホームチベの井戸がある。少し分かりづらいが探してみよう。一旦引き返し、元の道を左折し進み、公民館横の細い道を右折。町内の道を歩き、小高くなった池を過ぎた十字路を右折し、奥へ上がって行くと長圓寺がある。一旦引返し、公民館を右折したところを直進する。やまね橋の手前を左折し川沿いを歩く。清水橋を左折ししばらく道なりに歩くと左手に金刀比羅神社が見えてくる。歩道が無く道幅も狭いので車に注意して歩こう。太い車道に合流したら歩道を歩こう。千歳橋の交差点を直進し、次の信号を右折するとゴールの北条町駅へ到着。



吸谷廃寺

イチオシ 修布の井戸

『播磨国風土記』で水を汲みに来た女性が、吸い込まれた井戸と伝えられ、「修布の井戸」と呼ばれています。「修布里」の地名の由来も、このいい伝えからといわれています。それほど深くはありませんが、滾々と水が湧き出ており、この土地の水の恵みを感じる事ができます。現在も生活に使われている生きた井戸です。(住所:加西市吸谷町)



播磨国風土記ゆかりの地

【ホームチベの井戸】

修布の里には、修布の井戸がある村とは別に「品遅部(ほむちべ)村」の記述があります。修布里品遅部村を播磨国風土記以外の史料で見ることができませんが、その名を今に伝えるのがこの井戸です。



ホームチベの井戸



金刀比羅神社

